



スタッフの おすすめ

『夏目漱石、読んじゃえば?』
奥泉 光/著
香日 ゆら/漫画 イラスト
河出書房新社



YA! ヤングアダルト 新聞

新刊図書案内 7月~9月

- ★『敗北のない競技』 土井雪広
- ★『うたうとは小さいのちひろいあげ』 村上しいこ
- ★『夏目漱石、読んじゃえば?』 奥泉光
- ★『よのなかを変える技術』 今一生
- ★『夏の朝』 本田昌子
- ★『100年後の水を守る』 橋本淳司
- ★『ミラート年代記 3』 ラルフ・イーザウ
- ★『ボンバストゥス博士の世にも不思議な植物図鑑』 イバン・バレネチェア
- ★『マザーランドの月』 サリーガードナー
- ★『天と地の方程式 1』 富安陽子
- ★『14歳からの戦争のリアル』 雨宮処凜
- ★『カブキブ!』 榎田ユウリ
- ★『はこ』 小野不由美
- ★『神々と戦士たち 1』 ミシェル・パイヴァー
- ★『川床にえくぼが三つ』 にしがきようこ
- ★『赤の他人だったら、どんなによかったか。』 吉野万理子
- ★『浜村渚の計算ノート』 青柳碧人
- ★『櫻子さんの足下には死体が埋まっている』 太田 紫織

ほか、まだまだたくさんあります!

詳しくはホームページのYAコーナーで!

「夏目漱石」といえば、言わずと知れた明治時代の小説家。『こころ』や『坊ちゃん』など、100年経った今でも多くの人に読まれています。学校でも教科書に載っていたり、読みなさいとおすすめされることが多いですね。でも近代文学ってなんだか小難しい気がして、読みにくい・・・って思っている人もいます。ただこの本では漱石の全く新しい読み方を教えてくれるので、実はもっと気楽に読んでいいんだってことがわかったちゃいます。

たえば『坊ちゃん』は、元気がいいの江戸っ子坊ちゃんが活躍する痛快物語というイメージが強いかもしれませんが、実は坊ちゃんはコミュニケーションが苦手な中二病だという事実が判明したり、『それから』はミステリー小説のように色々な謎が隠されていることがわかったり・・・一度読んでみてみるのも、もつ一度読み直したくなるような面白い視点を教えてくれます。

漱石の小説について詳しく紹介されているだけじゃなく、小説を楽しく読むためのヒントもたくさんつまっています! とにかく、夏目漱石、読んじゃえば?

ここで紹介した本は貸出しできます。
(貸出中の場合は予約してね)

「たかがケ」って書いて「ケ」って書くんだらう・・・どうですか? 「が」が気になってきたでしょう? たかが「ケ」されど「ケ」。意外と奥が深いんです。(ちなみに、大小どちらの「が」でも間違いではありません。)



